

人

三一四 受信一七五九 譯始一七四五 譯了一八四〇 電〇〇六二九九 航作本艦〇

緊急 四 十 四 警



八〇一空 ヤツブ航空基地。東カロリン空

機密第一四一〇二三番電 二分ノ下ニ

發 〇二號大艇機長戰鬪報告

六十一日一七四〇ヤツブ島ノ三二一度三〇漚ニテ回避運動 スル敵大

型 油槽船四 驅逐艦四ヲ發見

三一八二〇ヤツブ島上空九機旋回主力一五機ハ高度ヲ取り發達セリ

三一九〇〇頃ウルシ島方向五〇漚附近ニ火柱ヲシキ反射光ヲ認ム

四一九〇七第二發動機油漏洩底翼經シリントアイ一個半バ脱落カバ一飛

散

五二〇〇〇ヨリ呼出符號「ノキユ」(當地ニテハ全然不承知トラツク  
通七〇八九、七〇八〇 呂二五(一七六三〇〇)四通 石馬、森(雨 谷) (日)

29. 3. 15

ナルヤトモ思ハルルトノ無線連絡極メテ良好ハ長波輻射要求ニ  
 應ジ四五度ノ方位ヲ得タリ又波一〇六ノ位置ヲモ通知シ來レリナ  
 リシハ不審ナリ二〇四五以後雨洩ノ爲受信機故障  
 六二三一〇着水十二日燒却處分ス。

(一)

傍

至急

三一四 受信一九〇〇二 譯了一九四七 電〇六二九一 作概

一機動基地航空部隊戰闘機報告所

聯合艦隊司令部

移管第一四一一一〇番

第一〇航空艦隊司令第六號

三月二十一日以降四月末日迄公用外出ノ外當隊員ニ對スル外出及休暇

ヲ許可セズ各隊ハ地上訓練並ニ戰闘作業ニ從事スベシ

ニ各所轄長ハ三月二十日迄ニ總員ニ對シ逐次時間外出（午食後ヨリ翌午

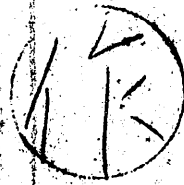
食迄）一回許可シ差支ナシ。

通七二四五 呂（日ケ五）（R）（横須賀）相澤（木）下（）

20. 3. 15



三一四 受信二一〇二〇六 譯了二二五〇 電〇六四六九 作概



聯合艦隊各航空艦隊口。一〇一航戰P。聯合艦隊所屬總航空隊  
東 通

機密第一四一五〇三番電 二分ノ一

聯合艦隊電令第六六五號

各航空艦隊（第十三航空艦隊司令長官ヲ除ク）及第一〇一航空戰隊司令官ハ毎月一日及十五日ニ於ケル所屬航空基地現狀ヲ左ニ依リ報告（

通報）スベシ

一、電報報告

(1) 左ノ事項ニ付各基地擔任指揮官ヲシテ報告セシム（括弧内ハ使用略語）基地所在航空隊名飛行隊名。

（電信課註 本電二分ノ二未着）

（通七二〇三二 呂一Bラ十八（B）G F O 相馬（岩崎）

三  
一五四 受信二〇二五  
一五 譯始〇四三〇  
譯了〇六三〇 五〇六五三二  
作 概



聯合艦隊 各航空艦隊・一〇一航空戰隊  
聯合艦隊 隊所屬總航空隊  
東京 通信隊

機密第一四一五〇三番電

二分ノ二  
20. 3. 15

通報 大海參謀部第一部 軍務局 軍需局 人事局 航空本部總務部  
ノミヲ別保有機數(イ)實動機數(ロ)現有機數(ハ)組數A級(ニ)  
B級(ホ)航空揮發油九一(A)航空揮發油八七(B)一號アルコール  
(カ)

三 書類報告前項ニ依ル報告事項ノ外爆彈落下増補及基地兵器等ニ付盛  
(戦) 陸司令部之ヲ取繼メ速報

三 昭和十九年機密GF命令特第四四號ハ之ヲ廢ス。

(電信課註 本電二分ノ一既已行)

318

通七二〇四 呂一Bラ一八(B) GFロ 吉村(様 澤)

ト

三 一五

受信開始 〇〇一〇一五

譯了 〇二三五

電 〇六四一九

作 稿 〇

緊急

ヤ ツ プ 航空基地



第五基地航空部隊

三十線 鹿屋航空基地

機密第一 一七三〇 香電

20. 3. 15

一 〇〇〇一 一〇四五 P B F I 一 一機 東方ヨリ 飛來シ 威嚇偵察飛行  
 ノ 後 東方ニ 去ル 一四一五 I 一五一五 P B M I 一 三機 一二〇度  
 リ 來襲 第一飛行場 周邊及 海中ニ 投彈ノ 後 九〇度ニ 向テ 一六五五 I 一  
 七〇〇 P B F I 一 十機 三〇度 P B Y I 一 一機 九〇度ヨリ 來襲 第  
 一飛行場 滑走路ニ 投彈 後 P B F I 一 九〇度ニ P B Y I 一 九〇度  
 ニ 去ル 一七一〇 T B F I 一 四機 三〇度ヨリ 飛來 上空 旋回 319 後 給一  
 飛行場 砲臺 一八四〇 東方ニ 去ル

通 七三〇二 呂 一 B (七八五 K) 三十線 片山 (雨) 谷 (一)



二 戦果ナシ 被撃航空隊舊兵舎二棟大破陸軍側戦死四  
三 滑走路被弾三八個使用不能  
四 銀河〇七〇〇機

三  
一五四 受信機 ○四一〇七 譯了 ○六〇〇 電 ○六四六八 作概



機密第一四一八四五番電 二分ノ一

戰聞概報 (三月十三日〇七〇〇ヨリ十四日〇七〇〇迄)

一〇七五〇頃 B1二五 一機安平上空ヲ南進偵察

二〇九五〇頃 B1二四 二機南方ヨリ馬公ニ侵入裏正角ニ坐礁中ノ一四

三 輸送艦ニ投彈後北方ニ脱去被害ナシ

三〇〇〇頃ヨリ B1二四 一機東海岸ヲ北上偵察北西ニ脱去セリ

四一〇〇頃ヨリ B1二五 二機南方ヨリ高雄ニ侵入投彈セズ南西ニ脱去

五(1)一一三〇頃ヨリ B1二四 四十機 P1三八 八機六群ニ分レ襲撃

通七二七八 呂一Bヲ十八 (四五七二、五KG) 高二放 原(岩崎)

20. 3. 15



作

作

緊急

三一五

受信 〇〇二三五  
譯始 〇〇二二一

譯了 〇一四八

電 〇六三八一

作概

三三根

局長	三三根	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
三三根	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八
〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八	〇八

三十三特根 戰艦 概報 第一五二號セ

一〇七五〇 〇一三〇〇迄 B 一二五 四機 P 一三八 三機來 機内 B

一二五 一機 海岸地帯 銃擊 結果 無シ 被害 四八四 號 魚雷 艇 沈没 軍需

部 機 船 一機 機室 炎上

一〇六三〇 〇七三三五迄 敵魚雷 艇 二七フ 港附近ニ 近接セリ。

321

通七二八八 且二二八十八 (四五七三三) 高二放 清水 (猪狩)

20. 3. 15



作戰緊急

三一四

受信二三三〇〇  
譯始二三三〇〇

譯了〇一一五

電〇六三七〇

作 概〇

第七潜水部隊

總無線艦所用共通符號

機密第一四二二二〇番電

20. 3. 15

第四南遣艦隊附屬 B S B 一五

東經一四四度五四分北緯三〇度五八分ニ敵部隊（推定兵力ハ巡洋艦  
驅逐艦各二隻）アリ 二〇五〇海晁丸ト交戦中

322

通七二七〇 日一B七五（B）七SSP

仙渡（海）符



三 一五 受信〇〇二二一六 譯了〇三二八 電〇六四二一 航作 本概〇

緊急

鹿屋航空基地



第一機動基地航空部隊作戦命令着信箇所

機密第一五〇〇四〇番電

一 K F G B 信電令作第一〇四號

二 監視艇ノ情報ニ依ルバ十四日二〇一七敵大部隊(戦艦二 巡洋艦二

驅逐艦二)北緯三〇度東經一四五度ヲ 上中

三 〇五三〇以後第二警戒配備トナセ

三 〇四〇六ハ十五日〇七三〇發進〇一八〇二〇(以上四〇〇哩)〇二

二 〇二四〇二六〇二八(以上五〇〇哩)ノ哨戒ヲ實施スベ

323

編七三二九 呂一B(九三七、五〇〇)→K F G B 清水(雨谷)

20. 3. 15

人

三一五

受信  
開始  
〇〇九三五

丁一〇一〇  
電〇六四九五

作  
部  
〇

受  
信

無線電所用共通符號



總務第一五〇八二三番電

20. 3. 15

第三六三潜水艦艦長

第七潜水艦隊司令官

八一成功B一二

324

通七三六八

呂一〇一〇  
父  
田

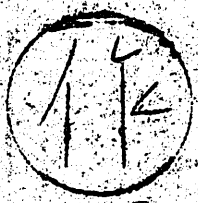


三 一五 受信一三五〇 譯丁一四二〇 電〇六五九三 作密〇  
譯始一三五九

作戰緊急

父 根

20. 3. 16



横領・三航空艦隊口

大海參一部・聯合艦隊口

機密第一五一二二五番電

○七〇一 二六〇度九五籽ニ電波探信儀ニテ編隊機捕捉〇七三一三  
二〇度一二籽ニ小型機四視認セルモ侵入セズ其ノ儘北進一〇度一〇  
○籽ニテ感度消滅現在迄復航捕捉セズ艦載機ノ導火ニシテ父島北方  
海面空母行動中ナルモノノ如シ。

選七四八二 才一四 (日) 横通 仙波 (三)

325





三一五

受信一九三八  
譯始二〇〇六

譯了二〇四五

電〇六七五四

作 概 〇

緊 急

第七潜水部隊

共

符



機密第一五一六一五番電

二分ノ二 327

20. 3. 16

七 S S B 情報第一六號

一 N M K 方面 (南鳥島警備隊報)

十五日〇七〇一、二六〇度九五紮ニ編隊機ヲ捕拏〇七三一、三二〇度

一二紮ニ小型機四機視認セルモ其ノ儘北進一〇度一〇〇紮ニテ感度消滅

二十四日二〇五〇東經一四五度北緯三一一度ニ在リシ敵ハ爾後消息不明

三敵大型機約一〇機硫黃島ヲ基點トシテ晝夜哨戒實施中正午頃北緯三一

緯附近ニ出系スル率多シ

交通情報ニ依レバ敵機動部隊 P U 出撃ノ算アリ。

七六七〇七六三 田一田 (日) 七五五△ 佐・杉原 (吉) 日

三  
↑  
ノ



局長	受領	開始	因	三	山	八	七	七	〇七〇八八
局長	受領	開始	因	三	山	八	七	七	〇七〇八八
A	B	福	崎	崎	崎	崎	崎	崎	〇七〇八八
航空基地	航空基地	航空基地	航空基地	航空基地	航空基地	航空基地	航空基地	航空基地	〇七〇八八

第五基地航空部隊戦闘概報着信艦所  
鹿屋航空基地  
機密第一五一八〇五番電

十五日戦闘概報

一〇九四五一一〇一五P B F 一〇〇度 F 四 U 八機一九〇度 P B  
 Y 一〇一五〇度ヨリ來襲グラマン第一飛行場投弾九〇度ニ F 四 U マ  
 ツブ島投弾各部銃撃後一一一度ニ P B Y 九〇度ニ去ル  
 一五四五一一七四五 P B F 五機三二〇度 P B Y 一機一八〇度ヨリ飛  
 來主トシテ第一飛行場及周邊各部制壓飛行銃撃後共二九〇度ニ去ル  
 其ノ他視界内飛翔タダラス一機

三〇果ナシ 被害滑走路被弾多數使用不能其ノ他航空隊被害ナシ  
 通八一一二 呂三 B 八一五七一〇 KC 三通 東野 (土) 谷

328

20. 3. 17



三一六 受信〇九五七 譯始一〇二〇 譯了一一三〇 電〇六九三八 作 概〇

緊急

九〇一 空

九〇一 空派遣隊 (厦門航空基地)

九三六 空



機密第一五二八五三番

機密第一四一九四一番電ニ依ル一〇九一敵情及東西諸島  
方面敵潜水艦ノ出現狀況ニ鑑ミ三月十七日頃以降敵書問來襲ノ算ナ  
リ各隊ハ敵ノ大規模ナル空襲ニ備ヘ基地防空力發揮並ニ被害局限上  
最善ヲ盡スベシ。

通七九三〇 日一五 口一ケ五 (九一四五) 高二放

清水 (飯 村)

八

三 一六 受信〇〇五五 譯了〇二五〇 電〇六七九九 作 藏

至 急 符 共

父島根機地隊或山嶽報着信送所



秘密第一五一九〇〇番電 二分

發 母島警備司令部

戰國備報(三月十五日)

二一四〇〇 二二〇度方向ヨリ P B Y 1 5 A 一機ノ誘導ニ依リ 一四一八

P 1 五 一 一六機三〇〇度方向ヨリ 來襲沖村ニ於テ機墜二二〇度方向ニ

遁走セリ。

〔電信課註 本用 二分 二未着〕

通七八〇八 天二Bケ六(B) 横須賀 西郷

20. 3. 16

330



天  
人

一六 受信〇四二五 譯了二二四五 電〇六九九六 作 概  
譯始一〇三〇

●二六根 機



●二六根 戦闘機報告信益所・三兩道艦隊各下

機密第一五二二一〇番電

331

20. 3. 17

六五 戦闘機報十五日

一〇七〇〇 一〇二五 一五〇〇 P I 四〇各四ワシレ地区銃撃〇九三〇

一〇三〇 P I 四〇各四機バレ島銃撃一三二〇單發二 一四一五ヨリ一

六三〇迄 P I 三八 三機スピットファイヤニカウ銃撃一三四〇單發二

ヨエフア見張所附近銃撃戦果被害ナシ

ニワシレ異状ヲ認メズ目下ノ状況碇泊〇八〇〇輸送船大巡三中型二小型

二艦逐艦二小型七

三七口タイ登進針路北乃至西大型二八中型三小型三八驅逐艦十

通七八七六 呂二Bラ十八(六二二)ニ、(二四通 柳山(新井)

作

三六 受信一〇七四五 譯了一一四五 電〇七〇一八七 作 概〇

第一〇方面艦隊 人事局

第一一 根 P

機密第一六〇二〇八番電 二分ノ一、二

發 總參謀長

宛 一〇H F 參謀長

(送電先) 十方面艦隊參謀長 機司

參考 人事局長

盛大電第一七七〇號

南方軍勢下 海軍艦隊指揮官ノ參謀相互參勤ハ左ノ通下致度

尙爾餘ノ參勤參謀ニシテ實質的ニ參勤業務ニ服セサル者ハ逐次整理シ

送七八九一・七八九二 一〇五六(六二三五K) 一〇送 小森(福田)



又各海軍根據地隊ハ陸上防衛ニ懸シ最寄陸軍軍司令官ノ指揮下ニ入り  
 アル爲各根據地隊參謀ハ最寄陸軍參謀ニ兼補セザルヲ適當トスル意見  
 ナルモ各軍ハ最寄根據地隊參謀ノ活用ニ懸シ留意セラレ度  
 左記岡集團ト第十方面艦隊 海集團ト三K F・司集團一三A F・

天

作

三

一六

受信〇九四〇七  
譯始〇九四〇〇

譯了一〇三〇

電〇六九〇二

作 概

父島根戰團概報着信繼所

父

根

△

機密第一六〇七五二番電

戰團概報(三月十五日)

一、一四一三ヨリ三〇分間大型單機誘導ニヨリP-151・11  
 行場及北地區ニ銃爆撃 一五四四ヨリ二〇分間B-124  
 飛行場及附近海面數十發投彈 一九五二ヨリ十六日〇〇五〇  
 三次ニ亘リ各大型單機來襲北部外周海面ニ投彈  
 二、戦果被害ナシ。

通七九一三 呂一Bケ五八一〇二〇〇EC(父島) 大石(金線)

20. 3. 16



14/2

三一六 受信一七三  
一五四 譯始一七二五

壽了一九五五

電〇七三七七  
電〇七三七八

作概〇

至 急

東

通

高

警

機密第一六〇九〇 五番電三分ノ二三

宛 海軍大臣 軍令部總長

臺灣方面作戰ニ關シ三月十日日本職及第十方面軍司令官間ニ左ノ通現

地協定ヲ締結セリ

第一陸 海軍ノ最高指揮官ハ同一箇所ニ位置シ陸海合休強靱ナル作

戰進備並ニ實施ノ完璧ヲ期スルモノトス

第二高雄 備府司令長官ハ海上作戦ニ關シ臺灣方面ニ於ケル陸軍海

上特攻兵力ヲ指揮スルモノト之ガ爲海軍ノ指揮ヲ受ケシムベキ陸軍

兵力部隊編成第一ノ如シ(別表省略)

通 七九七九・八〇〇九 口一八ケ五(一三五二〇) 高通

原野・西村(鈴三)

20. 3. 18

之が爲陸軍ノ指揮ヲ受ケシムベキ海軍兵力別表第二ノ如シ（別表  
省略）

第四戰局ノ推移ニ應ジ防空兵力航空基地兵力ヲシテ陸戰ニ轉換  
スル豫定

高擧司令長官ハ前項ニ準ジ之ヲ第十方面軍司令官ノ指揮ヲ受ケシ  
ムルモノトス

第五前二條ノ外所在ノ指揮官ハ沈着果敢敵ノ上陸ニ際シテハ別命  
ナク該地區國軍指揮官ノ指揮ヲ受ケシムルモノトス。

一 電信線註 本電三分ノ三未詳



大

三 一六 受信二一四二七 譯了二三三〇 電〇七四三〇 作概〇

至 急

東

通

高

警



機密第一六〇九〇五番電 三分ノ三

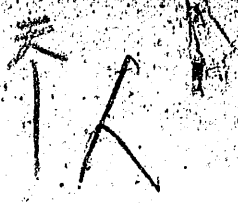
第六陸軍個有任務ニ基キ指揮系統ハ前諸條ノ規定ニ拘ラズ存續スルモ  
ノトス第七陸海軍指揮官ハ本協定ニ依リ指揮スベキ部隊ニ對シ自今教  
育訓練其ノ他戰闘準備ニ關シ之ガ指導ニ任ズルモノトス第八、陸海軍防  
管通信機關（無線及有線ヲ含ム）現地所在指揮官間相互ニ彼此協力スル  
モノトス第九、細部ニ關シテハ所要ニ應ジ別途協定スルモノトス。

〔電信課註 七電三分ノ一、二既配布〕

〔東通註 本電？ヶ所再送要求中〕

335

通八〇四八 呂一〇ケ五（二三五二〇ケ）高通 山口（松山）



緊 急

三一六 受信一七四八 譯了一九〇〇 電自〇〇七一五三八 作機〇  
譯始一八一〇

第一海軍部隊

無線艦所用共通符號

海上護衛總司令部。佐賀。鎮西。支那方面艦隊  
九五一空△。上海根拠地隊。青島根拠地隊各々  
第四海上護衛隊。第一〇三戰隊

機密第一六一〇〇七番電 六分ノ一、二、三、四、五、六

一 E F 電令作第九號

左ニ依リ G E B 電令作第四〇號ニ依リ敵潛艦滅作或ヲ實屬ス本作戦ヲ

A S 三作戦ト呼稱ス

兵力部署一部隊名指揮官兵力擔任哨戒帶

(1) A S 三部隊一〇二戰隊司令官

(2) 第一哨戒部隊 干珠海防艦長

三八一六一・八一六〇・八一三  
八一五五・八一六〇・八一三

天日ヶ六 (五二〇〇K) 佐 邊

田中・佐藤 (阿 波)  
スカ原・林

336

20. 3. 17



干珠 海一二 海七二 濟南哨戒帶

(白) 第二哨戒部隊 一二海防隊司令

一二海防隊 久賀 梁國濟東哨戒帶

(白) 第三哨戒部隊 一〇二戰隊司令官

一〇二戰隊 對馬 海五五 濟西哨戒帶

(四) 第四哨戒部隊 九三一空司令

九三一空ノ一部 濟西哨戒帶

(四) 御藏海三三八現任務終了後海一三二海五五ハ修理完了次第本作戦

ニ参加スルモノトス

三哨戒掃蕩ノ要領

(四) 第一第二第三各哨戒部隊ハ燃料ヲ秘力節約シ概ネ左ノ要領ニ依リ

哨戒掃蕩ヲ行フ

(一) 哨戒機ト緊密ニ連絡シテソノ発見セル敵潛ヲ匿滅ス

(二) 陸上方位測定ニ依ル敵潛ヲ搜索匿滅ス

目主トシテ夜間擔任哨戒帶ヲ移動哨戒シ電測水測兵器ヲ活用シテ  
徹底的敵必滅ニ務ム

(ロ)晝間ハ時ニ必要ノ場合ノ外移動哨戒ヲ行フコトナク擔任哨戒附近  
泊地ニ待機又ハ哨戒終了後ニ漂泊哨戒ス

(ハ)第四哨戒部隊ハ舟山島ヲ基地トシ待機哨戒圈ノ哨戒ニ任ズ

三補給

(イ)燃料石炭月二五〇〇噸以内

(ロ)補給基地ヲ第一第二哨戒部隊ハ佐世保第三哨戒部隊本部上海ト

四通信

AS一ノ作戰通

再AS二作戰ハ十七日一二〇〇ヲ以テ終結スAS三部隊指揮官ハ準備

出來次第本作戦ヲ開始スベシ

六九〇一室司令官ハAS二作戰終結後儘宜臺灣海峽北部ノ對潛哨戒ヲ

強化スベシ

20. 3. 17



人

三一六 受信一五二〇 譯始一五二五 譯了一五五五 電〇七〇七四 航作本概〇

緊急 第一護衛艦隊



九三一空。九三一空（舟山島、新井各航空基地）  
海上護衛總口。一〇二戰隊。九〇一空△  
基隆在勤武官

機密第一六一〇一一番電

338

20. 3. 17

發 參謀長

察九三一航空隊兵力ノAS三作戰參加ハ九〇一空兵力ノ上海方面轉  
進略完了迄兵力十二機トシ爾餘ハAS二作戰終了後佐伯ニ歸投次期  
任務ニ備ヘ整備ニ努メラレ度  
尙在臺灣人員物件ノ輸送ハ航空燃料逼迫ノ折柄極力船團（二十五日  
頃基隆發夕五二船團以後當分ナシ）ニ依ラレ度  
通八〇七一 呂一B（B）吳 日野原（雨谷）

人



三一六 受信一六一〇〇 譯了一七二五電〇七一〇六 作 概

緊急



◎ 大海參一部長。聯合艦隊口  
海上護衛隊口。支那方面艦隊口

◎ 第一護衛艦隊口。廈門方面根

◎ 第二支艦隊

機密第一六一〇一三番電

339

20. 3. 17

戰國概報

二十五日一一三〇B一二四一五機P一五一一五機香港及周邊ニ來襲  
退

二、香港根據地隊警備艇一隻ハ銅鼓島附近ニ於テB一二五一六機ト交戦  
沈没死傷一一戰果一艦隊

三、南支沿岸ニ於ル敵大規模偵察哨戒ハ晝夜執拗ニ續行スルノミナラズ多  
數ヲ以テ艦船攻撃ヲ繰返シツツアリ尙敵機ノ行動状況ニ徴スルニ端  
金方面使用ノ算アリ。

通八〇八〇 呂一B。ローケラ五(一三五二〇K)高瀬 水谷 (飯村)

0406



↑  
人

緊急

三一六 受信 一七四一 譯了 一九一五 電〇七一三六 作 概  
始 一八一五

● 九〇一空司令官所在處所

● 一三航空艦隊司令部・高警・九〇一空（戊航空基地）

● 第九〇一空（高空）

機密第一六一三一七番電

340

20. 3. 17



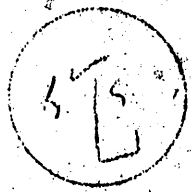
一二三〇B-I二四約二〇機來襲内一機宿舍地帯に投彈士官兵舎直撃  
數箇中破當分使用不可能ナリ整備科假倉庫炎上一三〇〇大半燒失重傷  
者一名。

通八一六四 呂一〇ケ五（一三五二〇KG）高雄 德永（小野 田）

天  
人

三一六 受信 始 一九三八  
二〇三〇  
譯了 二二二〇 電〇七二〇〇 作 概

至 急 高 警



聯合艦隊 口・東  
支那方面艦隊 口・第二遣支艦隊 口・南西方面艦隊 口  
海上護衛總部隊 各 口・海南警・佐鎮・沖根 口・臺灣空  
第一航空艦隊 口

機密第一六一三三七番電

三月十五日敵機來襲狀況 〇九〇〇頃ヨリ P1三八 三 P1四七 一五

鷺變鼻南方海面ヨリ臺灣南部ニ侵入高雄市附近高雄航空基地附近ヲ銃爆

後一一〇七頃逐次南方ニ脱去セリ

結果 陸軍側撃隊 P1四七 二機撃破 P1四七 三機 海軍側ナシ

被害 〇七二〇鷺變鼻燈臺ニ B1二五 一機(既報)ノ爆撃ヲ受ケ一發

命中燈臺建物一棟倒壊セル外本日ノ被害極メテ少ナリ。

八二〇八 呂一Bヲ十八(九一四五)高ニ放 渡邊(小野田)

↑人



緊急

三一六 受信二二五〇

譯了二二五五

電〇七二二〇九

作機〇

無線電所用共通符號

（通報標示）

伊二六九

機密第一六一六三五番電

二分ノ一、二

發 父島根據地隊司令官

宛 第七潜水隊隊司令官

通報 横須賀鎮守府參謀長

第七潜水隊隊機密第一六一三一五番電返

一 概役所要時間約一時間程度ナレバ日没直後ヲ適當ト認ム現狀ニテ一

六〇〇頃ヨリ一九三〇頃迄敵機來襲ノ場合極メテ甚ク且異機ニハ一

回モ投強シタルコトナシ

三八一五七、八一三三三、八一七四五、一〇二〇〇、父島（谷島）

342

20. 3. 17



三 早朝荷役緩慢爾後ノ揚捨物件及大發ノ際困窮ナリトキハ天明時頃  
 自リ小型機ノ來襲ヲキテ利用スル外日没前後ヨリ揚捨ヲ開始途中  
 敵機ノ來襲アリタル場合ハ一時荷役ヲ中止空襲警報解除直後ヨリ再  
 開セバ日中達成困難ナラズト認メラル夜間敵機ハ投彈セバ概ネ直ニ  
 歸途ニ就クテ常例トス。

0411

↑  
人

作戰特別緊急

三一六  
受信 二〇二七  
始 二〇三五  
譯了 二〇三九  
電〇七二三九  
作 概〇

第五十三警備隊松輪派遣隊



警報通信系着信鑑所

機密第一六一八三七番電

敵水上部隊ノ砲聲ヲ受ケツツアリ。

通八二一五 於一四 (B) 大湊 清水 (小野田)

343

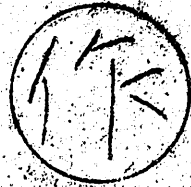
20. 3. 17

人

三 一七 受信〇二三一

電〇八一〇二

作概〇  
航本〇  
本本〇



海上護衛總部隊

共

符

3. 19

大臣聯合艦隊司令部・支那方面艦隊司令部・二遣支艦隊司令部・一〇方面艦隊司令部  
總長 一 根下 船 船司令官 (吳通)

機密第一六二八五五番電

通報 威部隊總參謀長  
海護總電令作第四〇八號

南號作戰中止ニ伴フ九〇一空九三六空九三一空ノ航空兵力配備變更要領ヲ左ノ通定ム

一 要旨

各隊ハ「ガ」ラ「ク」丸船團ニ對シ概ネ現配備兵力ヲ以テ護衛ヲ續行シ同船團護衛終了後逐次新配備ニ移行ス

一八九〇三・一九〇二

天二日ケ六

(小林) (1)



三 新配備

(イ) 九〇一空 (司令部上海) 主基地ヲ上海及舟山島トシ哨戒帶作戰基

地トシテ濟州島博多及大村ヲ加フ

(ロ) 九三六空 (司令部昭南) 主基地ヲ昭南トシ其ノ他指揮官所定トス

(ハ) 九三一空主基地ヲ佐伯トス但シ同隊ノ佐伯轉進ハ九〇一空兵力ノ

轉進概ネ完了後トシ其ノ時機ハ第一護衛艦隊司令長官所定トス

三 基地員

基地物件ノ輸送ニ關シテハ別ニ定ム

人

↑

作戰緊急

三六一六 受信開始二〇三〇五 講了二〇四三 電〇七一七八 概〇

YK

千防部 千根 軍令部 聯合艦隊 十二航空隊 大湊警 戸

機密第一六一九三六番電

信電令作第一一號

松輪一八三七敵輕快艦艇之砲撃ヲ受ケツツアリ南北千島第二警戒配 備トナセ

延八二二四 於十四( B )大湊山本 澁谷

345

20. 3. 17